羅針盤
らしんばん

豊中市立第五中学校	
2020年度	第67期生
進路指導委員会発行	
5月11日	第1号

学校の臨時休業の関係で「３年生がスタートして早くも１か月」という時期なのに、なかなかそのような気分に正直なれませんね。ただ、みなさんは間違いなく「３年生」です。今年がどんな一年になろうとも「中学校卒業後の進路を決める一年」であることは間違いありません。すでに自分の希望進路に向けて一生懸命に勉強を始めている人もいるでしょう。一方で、なかなか集中できず、もやもやした気分でいる人もいるでしょう。

この『羅針盤』は、学年通信とは別に進路についての情報などを６７期生のみんなに伝えるための通信です。大切なことばかり掲載されていますので、必ず保護者の方にも読んでもらってから、自宅で保管しておきましょう。

●羅針盤(らしんばん)

羅針盤とは、船舶に取り付けられ、波の動揺に影響を受けずに、常に水平の位置を保つように設計された「方位磁針」のことです。

むかし、大きな帆船で航海に出た際、広大な海原で方向を知るのに、太陽の位置や星だけでは天候に左右され安定した航行ができません。そこで、地球の地磁気に反応する「磁石」を使って航路を定めていました。

この『羅針盤』も、みなさんの「進路」を定めるための資料として、活用してもらえるように、名づけられました。

たとえ、強い向かい風が吹いてこようとも、みんなで力を合わせれば、大きな帆船を前進させることができるのです。ぜひ、自分一人だけで悩まず、クラス、学年のみんなとともに、お互いが協力しながら、進路を切り開いていきましょう！

◎「進路選択」「進路を選ぶ」とは

「進路選択」「進路を選ぶ」ということは、単に「進学先や就職先を決める」だけではありません。自分が現在から未来に向かって、「どう生きるか」「生きていく力をどのようにつけていくのか」を真剣に考え、実行することです。また、「自分の人生目標」をどう立てるかということにもなります。例えば、進学を希望する人は、何のために進学するのか、さらに、将来どんな職業につこうとするのかをしっかり考えてほしいと思います。

◎中学３年生での進路選択は、自分の人生を選択する初めての機会です。だからこそ・・・

①　日々の生活の中から

自分の進路を選んでいくことは、大きな転機です。しかし、学習を重ねて、自分を心身ともに成長させていくことは、中学卒業の前後で変わりなく続くものだと考えます。つまり、今の生活の延長線上に進路があり、中学卒業後の未来があるといえるでしょう。

②　クラブ活動

今、みなさんはクラブ活動の中心です。活動が再開されれば、69期生も含めた３学年で活動することになります。67期生にとっては、部活の運営を新入生も交えてやっていく場面が増えるでしょう。時々聞くのは、成績が上がらないからクラブをやめて勉強に打ち込もうという生徒の声。自主的にクラブを引退した生徒の多くが、成績が上がっていない姿をよく見ています。最後の引退までやりとげる生活から、進路選択でも入学試験まで勉強をやりとげる態度が生まれると思います。

③　クラスや学年

現在、ストップしてしまっているクラスや学年は、本来、教科授業を受け、学力をつけていく場であり、また、多くの仲間との共同生活をする場でもあります。地域でも支えていく活動があるように、クラスを支える活動、学年を支える活動があります。ひとつ、清掃にしても、生活の主体になる一人一人が力を出すことで、環境が維持されたり、仲間との生活が成り立っていくのではないでしょうか。学習時間の大部分を占めるクラスでの取り組み方が、進路に向けての力になっていきます。仲間とともに取り組んでほしいです。

学校再開後は、しんどい時でも支え合い、助け合える関係を築いていき、授業をおろそかにせず、前向きに取り組んでいくこと。さらに、清掃など、学校生活を支える活動を大切にしていってほしいです。

④　進む道を考えて

クラスや学年は、教科授業を受け、学力をつけていく場です。中学卒業後の進路先では、どんな学びをしたいのか。自分の興味や得意分野からどんな道に進んでいくのかをしっかりと考えてほしいです。また、『働くから今の学習にがんばらなくてよい』と考えるのは、安易です。中学卒業者の求人はほぼゼロですし、働くことは自立した労働者としての資質が問われます。険しい道だということを知ってほしいです。

⑤　進路先の見学・体験を

例年ならば３年の夏休み以降、多くの高校でオープンスクール、学校説明会があります。高校を複数見学に行き、自分が通うことを想像しつつ参加してほしいです。説明会がなくても、実際に入学後の通学をイメージして、その学校の前や周りを見るだけでも全然違いますよ。

（裏面に続く）

●　学校再開後のテストについて

　現在、５月３１日（日）までの臨時休校が発表されています。６月に再開された場合、最初の週の金曜日に「第１回実力テスト」を実施する予定です。科目は「国・数・英・理・社」。範囲は「今までに学習した範囲すべて」となります（範囲が設定される教科もあります）。このテストは、「今のみなさんがどのくらいの力があるのか？」「入試でどのくらいの力が発揮できそうか？」を測るために行います。実力テストは範囲がとても広いので、何をしてよいか考えてしまうかもしれません。「実力を試すテストだから何もしない」と開き直ったり、「何をしていいかわからないから何もしない」という人がいるかもしれませんがそれは違いますよ。この機会にまずは今までの問題集の見直し、苦手分野を克服することに努めてみましょう。休校中の今が復習する絶好のチャンスですので、この機会を大切にしてください。

　また、６月１７日（水）に実施予定だった「大阪府チャレンジテスト」は中止が大阪府知事から発表されました。現時点では大阪府教育庁からの正式な通知等は発文されていませんので、詳しいことがわかりましたら、みなさんにお伝えします。

●　奨学金制度について理解を深めよう

奨学金制度は誰もが安心して進学していくための大切な制度です。その仕組みを理解して、積極的に利用してください。
現在、多くの先輩たちも奨学金を利用して学校に通っています。
奨学金には色々な種類があります。どの奨学金制度を利用したいのか、どの奨学金なら利用することが出来るのか等、募集事項をよく読んで、保護者の方と相談しましょう！

☆奨学金について詳しく知りたい人は、進路担当の森たか先生、または奨学金担当の村瀬先生まで聞いてください。

【奨学金Ｑ＆Ａ】

Q1．奨学金って何ですか？
⇒高校・大学・専修学校で勉強する為に、日本育英会・大阪府育英会などの団体がお金を貸してくれる制度です。
Q2．どうしたら借りることができますか？
⇒募集案内が来れば、学校より「羅針盤」で連絡をしますので、配布プリントは必ず読んで下さい。「ほとんどが、学校を通しての申し込みです」
ただし、誰でも無条件に借りることは出来ません。家庭の収入など、条件を満たさなければなりません。
Q3．進学か就職か、公立か私立か迷っていますが、予約は出来ますか？
⇒正式な手続きは、進学決定後となりますので心配ありません。
Q4．借りた奨学金はいつ返したらいいのですか？
⇒本人が働いて収入を得るようになってから返済をはじめることになります。

【現在募集中の奨学金制度】

①　公益財団法人川口交通遺児育英会
保護者等が交通事故で死亡し、あるいは負傷のための著しい後遺障害等のため働けなくなった家庭にあって、学費の支弁が経済的に困難である者のうち、学業・人物ともに優秀な者を募集します。
※　校内での申請のしめきり　　２０２０年６月２２日

②　交通遺児育英会奨学金
保護者が交通事故で死亡したり、それが原因で重度後遺障害となった家庭で、教育費に困っている場合。
※　校内での申請のしめきり
　　第１次予約募集　２０２０年８月２５日
　　第２次予約募集　２０２１年１月２５日

③　あしなが奨学金
保護者が病気・災害（道路における交通事故を除く）・自死などで死亡したり、それが原因で後遺障害で働けないため、教育費に困っている場合。
※　校内での申請のしめきり
　　第１次予約募集　２０２０年７月２０日
　　第２次予約募集　２０２０年１２月７日